

➤ **金型や部品の精密加工に用いられる超硬エンドミルのリーディングカンパニー**

- ・日進工具(以下、同社)は、自動車部品、電子部品等の製造に用いられる金型や部品の精密加工に不可欠な小径(同社基準で6mm以下)の超硬エンドミルに特化する機械工具メーカーである。顧客は輸送機械、電気機器、精密機器・医療機器などの大手メーカーから中小部品メーカーまでに及び5千社を超えている。
- ・同社は小径エンドミルに特化するニッチ・トップ戦略を基本とし、以下の2点を重視している。(1)徒に売上高拡大に走らず利益を優先し、着実な成長を継続する。同社は価格競争に依らず、市場ニーズに沿った製品開発や加工法の提案等で顧客の支持を得て、これを実現してきた。(2)微細加工が可能な小径品、CBN(立方晶窒化ホウ素)等の高付加価値製品の拡販と生産効率化を進め、高い収益性を確保する。なお、目標とする経営指標は売上高経常利益率20%(16/3期23.3%)。

➤ **17年3月期第1四半期決算：上期計画に対する経常利益の進捗率は55.1%と順調な滑り出し**

- ・17/3期第1四半期決算は、売上高2,175百万円(前年同期比6.5%増)、経常利益589百万円(同20.2%増)、売上高経常利益率は27.1%(同3.1%ポイント上昇)であった。期初に策定された第2四半期累計期間(以下、上期)計画に対する進捗率は、売上高が50.4%、経常利益は55.1%であった。
- ・製品区分別売上高は、主力の6mm以下のエンドミルが1,540百万円(前年同期比6.2%増)、同6mm超が253百万円(同7.1%増)、その他のエンドミルが204百万円(同1.7%増)、ケース等その他が176百万円(同14.8%増)。国内外別では、国内1,707百万円(同8.3%増)、海外468百万円(同0.4%増)となった。
- ・機械工具市場は円高の進行に伴う企業収益の悪化や設備投資の減退等により弱含みで推移したが、小径エンドミルを主体とする同社では、自動車関連(ライト関係)、スマートフォンにおける新モデル投入(コネクタをはじめとする電子部品)等に支えられ、販売は堅調に推移した。
- ・売上高経常利益率改善の主因は、売上総利益率の改善(57.8%、前年同期比6.4%ポイント改善)である。従来外注先としていた非連結子会社を連結子会社と合併させたことにより、労務費等の増加はあったものの、これを上回る外注費削減効果が主因で、工場増設による減価償却負担増(同36百万円)も吸収することができた。

➤ **17年3月期会社予想：顧客の業況が不透明で慎重な微増収、微増益予想ながら連続増配を計画**

- ・17/3期業績について同社は、期初に策定した1.2%増収、1.3%経常増益という慎重な見通しを据え置いた。自動車関連は燃料電池車や自動運転に向けた新たな部品開発等で需要拡大が期待される一方、スマートフォン市場の増勢鈍化や円高基調により、下期に向けて顧客の業況が悪化することを懸念していると推察される。
- ・同社は17/3期の設備投資706百万円(前期比45.5%減)、減価償却費635百万円(同25.9%増)を計画している。設備投資の一服に伴い、利益剰余金を連続増配に使い、株主に報いる意向である。アルファ・ウイン調査部は、売上高の増勢鈍化、減価償却費の増加等があるものの、利益横ばい予想は慎重と考えている。

【6157 日進工具 業種：機械】 株価(7/29終値)1,802円、時価総額11,266百万円、会社予想基準PER(今期)8.3倍

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2015/3 通期	7,402	15.3	1,481	38.5	1,534	38.6	973	40.1	155.7	1,356.5	40.0
2016/3 通期	8,382	13.2	1,914	29.3	1,954	27.4	1,342	37.9	214.8	1,530.7	50.0
2017/3 通期CE	8,480	1.2	1,940	1.3	1,980	1.3	1,350	0.5	215.9	—	60.0
2016/3 1Q	2,043	17.7	461	20.2	490	21.0	315	23.5	50.5	1,367.3	—
2016/3 2Q	4,104	15.7	974	36.2	1,007	34.0	670	38.7	107.2	1,423.8	0.0
2017/3 1Q	2,175	6.5	585	26.9	589	20.2	376	19.3	60.2	1,567.4	—
2017/3 2QCE	4,320	5.3	1,050	7.7	1,070	6.2	730	8.9	116.8	—	0.0

(注) CE: 会社予想、E: アルファ・ウイン調査部予想、Qは累計会計期間

アルファ・ウイン調査メモ(以下、本メモ)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成するもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本メモの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本メモを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## ディスクレーマー

アルファ・ウイン 調査メモ（以下、本メモ）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

連絡は、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。